

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調書

都道府県名	東京都	事業実施主体	奥多摩町	地域再生計画名	生活排水汚染対策による多摩川水質改善計画
計画期間	平成23年度～平成27年度	評価責任者	奥多摩町 環境整備課長 坂村 孝成		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理人口普及率を平成21年度末約61.4%から平成27年度末95%以上に向上させる	61.4%	H21			95%	H27	98%	○	公共下水道及び浄化槽の整備促進を効率的に行い、目標を達成することが出来た。
	指標 2	多摩川水質のBODを平成21年度末0.7mg/Lから平成27年度末0.5mg/L以下に向上させる	0.7mg/L	H21			0.5mg/L以下	H27	0.7mg/L	△	公共下水道及び町設置型浄化槽の整備促進を行うも未接続世帯があり、目標に達成することが出来なかった。
	指標 3	多摩川水質の全窒素を平成21年度末1.02mg/Lから平成27年度末0.5mg/L以下に向上させる	1.02mg/L	H21			0.5mg/L以下	H27	0.5mg/L	○	公共下水道及び町設置型浄化槽が普及したため水質が向上し、目標を達成することが出来た。一方で、公共下水道及び町設置型浄化槽への未接続世帯があるため、数値の動向を注視する必要がある。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備	延長 33,237m		延長 28,563.87m	下水道区域での本管の整備を完了することが出来た。今後も転入等による公共下水道の未整備箇所については、支管の整備等を随時検討する。
	浄化槽整備	設置 23基		設置 25基	浄化槽区域での浄化槽整備を概ね完了することが出来た。今後も浄化槽設置希望意向があり次第、浄化槽整備を随時検討する。
その他の事業	雑排水路直接浄化施設の維持管理	雑排水路直接浄化施設の適切な維持管理			町内で住宅が集中している3箇所（長畑地内1箇所、小丹波地内2箇所）に設置している当該施設の維持管理を行い、水質保全に努めた。
	啓発活動の実施	奥多摩ふれあいまつりにおけるPR			毎年度秋季に行われる産業祭のイベントブースにて汚水処理や環境美化について啓発活動を行い、水質保全等の理解を進めた。
計画外で独自に実施した事業					

④評価方法 奥多摩町下水道事業運営委員会にて、最終目標に状況に関する評価・検討を行った。

⑤事後評価の公表方法 奥多摩町ホームページに掲載

⑥計画全体の総合評価 汚水処理施設整備交付金を活用し効率的な整備促進を行うことが出来たため、汚水処理人口普及率については高い数値に達した。多摩川水質については向上しているものの、公共下水道や町設置型浄化槽への未接続世帯から、汚水が流出し多摩川の水質向上に影響していると推察される。

⑦今後の方針等 今後は、汚水処理施設への未接続世帯を中心に汚水処理施設整備についての理解を得るため、下水道公共マスへの接続や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換が行われるように広報や戸別訪問にて周知する。また、各世帯においての適切な排水方法について、広報や各種事業において積極的に周知し、引き続き多摩川水質の保全に努める。